

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、意欲、適性を具えた学生を求めています。

—知識・技能—

1. 高等学校の教育課程を幅広く履修し、基礎的な学力を修得している。
2. 看護職として活躍していくためのコミュニケーション能力を身につける素地がある。

—思考力・判断力・表現力—

3. 他者に関心を持ち、多様な価値観を持つ人を尊重することができる。
4. 自己の考えを適切に表現し、他者に伝えることができる。

—協働・態度—

5. 将来、保健・医療・福祉の場で活躍を希望し、主体的に探究していく姿勢を有している。
6. 他者と協調し、問題解決に向けて努力する姿勢を有している。
7. 地域社会、国際社会に関心を持ち、貢献しようとする姿勢を有している。

上記に基づき、入学者選抜の評価方法を次の通り定めます。

〔推薦入試〕

推薦入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、面接においてコミュニケーション能力や表現力・態度等を評価する。基礎学力は高等学校の推薦に基づき、調査書を参考にする。評価については小論文と面接を重視し、調査書は参考として利用する。

〔学士・短期大学士入試〕

学士・短期大学士入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、面接においてコミュニケーション能力や表現力・態度等を評価する。知識・技能は大学・短期大学の成績証明書を参考に。評価については小論文と面接を重視し、成績証明書は参考として利用する。

〔社会人入試〕

社会人入試では、小論文において思考力・判断力・表現力、面接においてコミュニケーション能力や表現力・態度等を評価する。基礎学力は高等学校の調査書を参考にする。評価については小論文と面接を重視し、調査書は参考として利用する。

〔一般入試〕

一般入試では、学科試験（英語、国語、理科）において基礎学力、面接においてコミュニケーション能力や表現力、態度等を評価する。評価については学科試験の成績を重視し、面接は適性等の参考として利用する。

〔センター試験利用入試〕

センター試験利用入試では、大学入試センター試験の成績（英語、国語、理科）において基礎学力、面接においてコミュニケーション能力や表現力、態度等を評価する。評価については大学入試センター試験の成績を重視し、面接は適性等の参考として利用する。